

斑鳩

いかるが



一人ひとりが創り出すまち
歴史と文化がくらしの中に息づく
”新斑鳩の里“



おいしいそばができますように
～コンバインによるそばの刈り取り～

2010
12
No. 543

2 斑鳩の食材でつくる
斑鳩の特産品

特集1

4 自らを守りだれかを
助けるために

～地震への備えを考えよう～
特集2

8 まちの話題

10 いにしえの風

11 斑鳩文化財センターだより
～地域を守るのは地域のつながりから～

12 わたしが私らしくあるために
13 バゴちゃんの地球となかよし

14 年末年始のお知らせ

16 まちの情報

22 ほけんだより

斑鳩の食材でつくる 斑鳩の特産品

「中宮寺門前そば(乾めん)」と「黒米ぼた餅」

斑鳩町では、遊休農地の解消に向けて、平成18年から「斑鳩の里・農・食の活性化プロジェクト」に取り組み、そばや黒米などの栽培をすすめています。

昨年、遊休農地でつくられたそば粉を使った「中宮寺門前そば(生めん)」が商品化されたほか、JA女性部の協力で斑鳩産の黒米を使った「黒米大福」が作られ、町内の催しで販売されました。

今月号では、2作目としてつくられた「中宮寺門前そば(乾めん)」と「黒米ぼた餅」を紹介します。

斑鳩の里 中宮寺門前そば(乾めん)



黒米ぼた餅

遊休農地の解消への取り組み

平成18年に、「斑鳩の里・農・食の活性化プロジェクト」が設立されてから、遊休農地を利用した、そば栽培や菜の花栽培、黒米栽培がおこなわれています。できたそば粉は、産業フェスティバルなどでそばドーナツとして販売されたり、そば打ち体験に利用されています。

また、菜の花は、斑鳩を訪れる観光客や住民のみなさんの目を楽しませたり、菜の花油として販売されたりと、農業委員会と住民ボランティアのみなさんの協力でいろいろな企画が展開されています。

「農」と「食」をつなげた加工品の開発

遊休農地を活用した食材の栽培だけに終わらず、地域の食材を利用した加工品をつくることで、「農」と「食」をつなげる取り組みが進んでいます。

農業体験から味わう

「育てる楽しさ」・
「収穫の楽しさ」

遊休農地を利用してそば栽培やじゃがいも栽培を住民のみなさんに体験してもらい「農業の楽しさ」を味わってもらおうと「そばサポーター」「じゃがいもサポーター」を募集。参加されたみなさんは、「育てる楽しさ」と「収穫の楽しさ」を体験しています。

▲そば栽培の様子



▲じゃがいも栽培の様子

収穫までには、土を耕したり、草を引いたり…とたくさん作業がありますが、その後には必ずうれしい収穫があります。参加者は、自然からの恵みの喜びをたくさん味わっているようでした。

収穫されたそばは、そば打ち体験や「中宮寺門前そば(生めん)」に利用されます。





「中宮寺門前そば(乾めん)」 ができました

昨年、10月に発売された「斑鳩の里中宮寺門前そば(生めん)」に引き続き、今年9月「斑鳩の里中宮寺門前そば(乾めん)」が完成しました。

乾めんは、生めんと同じく、大和郡山市の大徳食品の加工により開発され、国産そば粉を5割配合した細めんタイプで、生めんとあわせて斑鳩町の特産品として期待されます。

●試食会を開催……

9月22日、「中宮寺門前そば(乾めん)」の試食会が開かれ、日野西光尊門跡や小城町長など約30人が、冷やしそばでつるりとしたのどごしを味わいました。

乾めんのパッケージは、生めんと同じく、中宮寺の日野西光尊門跡の揮毫(きごう)で斑鳩らしいパッケージとなっています。

▶試食会のようす



●贈答品や県外への販売に……

生めんは、中宮寺や県内のスーパーで販売していますが、乾めんは生めんと違い、日持ちがするため、贈答品などとして県外への販売が可能となります。現在は中宮寺や法隆寺 i センターで販売していますが、今後は販売場所の拡大が期待されます。



▲ただいま試作品作成中 JA女性部

昨年の「中宮寺門前そば(生めん)」に引き続き、中宮寺門前そばの乾めんが完成し販売がはじまっています。また、地元で採れたものをたくさんの人たちに味わってもらうには、加工品が一番と、JA女性部が、「黒米大福」に続き、意見を出し合っ
て、「黒米ぼた餅」を開発。
飛鳥時代に食べられていた古代米の黒米は、聖徳太子ゆかりの地として、かわりの深い食材であるため、JA女性部のメンバーは、加工に力をいれ、農と食の世界を広げようと、日々試行錯誤されています。

町全体へ広がる農と食の世界
遊休農地の活用からはじまった「斑鳩の里・農・食の活性化プロジェクト」ですが、地域住民が協力し町全体へと広がっています。
自然の恵みと人の力が加わり、いろいろな取り組みへと展開しています。

「農のあるまちづくり」

農・食・観光を一本化した――



▲菜の花の種取(斑鳩東小)

斑鳩町農業委員会が中心となり、農・食・観光を一本化した地域農業の活性化に向けた取り組みを展開し、「そばピクニック」「菜の花まつり」などの催しを通して、子どもから大人までの地域のみなさんが、環境や食育にかかわる活動に参加する「農のあるまちづくり」と、斑鳩町ならではの景観を守っていくことを目標としていることが評価され、第2回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰「全国農業会議所会長特別賞」を受賞されました。

地域のみなさんとかかわりながらのいろいろな農業の取り組みは、斑鳩町内に浸透してきました。

これからの斑鳩町の農業は、いろいろな人が協力し合い、いろいろな意見を出し、農・食・観光だけでなく、多方面に進化を続けます。